

2020年 4月 8日

阪神高速道路株式会社

入札説明書(技術提案書等含む)及び設計図書等に対する質問回答書

工事名 : 豊崎工区換気所新築及び開削トンネル・下部工事	
質問提出日:2020年 4月 1日 質問回答日:2020年 4月 8日	
質 問	回 答
番号1 入札説明書4.(9)② 配置予定技術者の工事経験の要件について、延床面積3,500㎡以上の新築工事とありますが、既存建物に一部接続する増築工事(延床面積約15,000㎡)は同要件を満たしますか。	番号1 入札説明書4.(9)②に記載のとおり「新築工事」が施工実績対象になるとお考え下さい。 なお、申請書等の提出前の質問書に具体的な図面を添付されても、参加資格の有無について当社は判断しません。
番号2 排S-12 (構造) 杭頭部補強筋について、縦補強筋の長さが不明です。杭頭よりL2程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号2 ご質問の通りとお考え下さい。
番号3 排A-02、事前に頂いた設計書P113他 (外部) 特記仕様書にひび割れ誘発目地・打継目地が適用となっていますが、事前に頂いた設計書P.113他では誘発目地が見当たりません。誘発目地は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号3 ご質問の通りとお考え下さい。
番号4 排A-15 地下外壁塗膜防水の範囲について、下端レベルは全てB3SL迄必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号4 ピット底盤までとお考え下さい。

質 問	回 答
番号5 排A-08、事前に頂いた設計書P110 止水板について、仕様が不明です。事前に頂いた設計書P.129に倣い、10×20程度と考えて宜しいでしょうか。その場合、範囲は地中梁～壁取合部と考えて宜しいでしょうか。又、メーカー・品番の指定があれば併せて御指示下さい。	番号5 止水板の仕様は、ご質問の通りとお考え下さい。設置範囲は、コンクリートの打継ぎ面の全部とお考え下さい。メーカー・品番の指定はございません。
番号6 排A-13、事前に頂いた設計書P116 共通事項において、外壁メンテナンス用の吊環は全周に5m以下ごとに設けると記載ありますが、仕様が不明です。事前に頂いた設計書P116に倣い下記と考えて宜しいでしょうか。又、表面仕上げはHL仕上と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。 ・ステンレス製 19φ 内径100	番号6 ご質問の通りとお考え下さい。
番号7 排A-13、事前に頂いた設計書P116 上記質疑の丸環について、屋上点検通路のX1通、Y1通、Y2通に必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号7 ご質問の通りとお考え下さい。
番号8 排A-05他、事前に頂いた設計書P116 アルミ笠木について、事前に頂いた設計書P116とおり下記と考えて宜しいでしょうか。その場合、目地はシーリング納まりと考えて宜しいでしょうか。又、メーカー・品番の指定があれば併せて御指示下さい。 ・既製品 ・コーナー L=500+500	番号8 アルミ笠木の仕様については、ご質問の通りとお考え下さい。メーカー・品番の指定はございません。
番号9 排A-15、事前に頂いた設計書P116 防鳥ネット取付金物について、員数が不明です。事前に頂いた設計書P116とおり28か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号9 ご質問の通りとお考え下さい。
番号10 排A-15 外壁結晶化ガラスの取付詳細が不明です。詳細図を御指示下さい。	番号10 詳細設計にて検討する予定です。
番号11 排A-14、事前に頂いた設計書P116 外壁アルミルーバーの仕様について、事前に頂いた設計書P116とおり下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・50×100@200 横張り 端部役物・取付下地金物共	番号11 ご質問の通りとお考え下さい。

質 問	回 答
番号12 排A-14、事前に頂いた設計書P116 外壁アルミルーバー下地鉄骨の仕様を御指示下さい。	番号12 外壁アルミルーバーの下地鉄骨については、「金額を記載しない設計書P.111 鉄骨(排気塔)」を参照してください。
番号13 排A-14、事前に頂いた設計書P116 外壁アルミルーバーについて、事前に頂いた設計書P116とおり片開き扉1か所必要と考えて宜しいでしょうか。その場合、寸法はW900×H2100程度と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	番号13 ご質問の通りとお考え下さい。
番号14 排A-15、事前に頂いた設計書P116 屋外階段目隠しルーバー側に壁付き手摺の様な記載がありますが、事前に頂いた設計書P116では壁付き手摺の記載がありません。設計書に倣いアルミルーバー側の階段手摺についても外壁側と同様の自立式手摺と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号14 ご質問の通りとお考え下さい。
番号15 排A-15、事前に頂いた設計書P116 屋外階段の手摺について、仕様が不明です。事前に頂いた設計書P116に倣い下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・高さ - H1100(平・斜部) ・笠木 - 34 φ ・支柱 - 32角 ・横棧 - 32角 ・手摺子 - 16 φ	番号15 ご質問の通りとお考え下さい。
番号16 排A-15、事前に頂いた設計書P116 上記質疑の手摺について、支柱ピッチ等が不明です。下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又、笠木は図面とおりビニレンと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。 ・支柱 - @900 ・横棧 - 1段 ・手摺子 - @100程度	番号 ご質問の通りとお考え下さい。
番号17 排A-14 鉄骨階段の踊り場の範囲について、踏面部から1200(1-2F間は1125)迄の範囲と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号17 ご質問の通りとお考え下さい。

質 問	回 答
番号18 排A-15、ダ'2A-15 (内部) 排気ダ'外との取合について、排気塔の図面と排気ダ'外の図面とで下記の様に相違していますが、排気塔の図面を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・排A-15 - Y1通りから600の範囲(正) ・ダ'2A-15 - Y1通りから1000の範囲(誤)	番号18 排気ダクトの図面を正とし、Y1通りから1,000の位置とお考え下さい。「図面 排A-15」については、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号19 排A-14、排S-08 構造伏図では湧水ピットY1-2間に小梁FB1の記載ありますが、意匠図では記載が無く相違しています。構造伏図を正とし、小梁が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号19 ご質問の通りとお考え下さい。「図面 排A-15」については、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号20 排A-14、排S-08 湧水ピットの天井及び梁型(上記質疑の小梁)について、打放補修素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号20 ご質問の通りとお考え下さい。
番号21 排A-15、排S-12 基礎梁のW寸法について、意匠図と構造図とで下記の様に相違していますが、構造図を正と考えて宜しいでしょうか。他に意匠図と構造図で相違がある場合、全て構造図を正と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。 ・構造図 - FG1・2 W1000、FG3・11 W800(正) ・意匠図 - X2通りW400、その他W900(誤)	番号21 ご質問の通りとお考え下さい。「図面 排A-15」については、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号22 排A-02、事前に頂いた設計書P.109 打放補修について、特記仕様書において点検通路部はA種と記載ありますが、事前に頂いた設計書とおり全てB種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号22 ご質問の通りとお考え下さい。
番号23 事前に頂いた設計書P.110、117 ピット内人通孔について、事前に頂いた設計書P.110とおりボ'ト'型枠と考えて宜しいでしょうか。又、上部タラップと記載ありますが、人通孔両側に1か所と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	番号23 ご質問の通りとお考え下さい。
番号24 事前に頂いた設計P.117 ピット内マンホール下部のタラップについて、マンホールの位置が基礎梁から離れているように見受けられますが、事前に頂いた設計P.117とおり打込型 ノンスリップ付とし、9か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号24 ご質問の通りとお考え下さい。

質 問	回 答
番号25 排A-13、 事前に頂いた設計書P.117 共通事項において、金属部分で結露の発生が想定される個所については、結露防止材を塗布することと記載ありますが、事前に頂いた設計書とおり該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合、範囲を御指示下さい。	番号25 ご質問の通りとお考え下さい。
番号26 事前に頂いた設計P.117 ピットマンホールについて、事前に頂いた設計書P117に倣い防水防臭型と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号26 ご質問の通りとお考え下さい。
番号27 排A-15 最下階アスファルト防水立上りについて、保護モルタル等は不要とし、露出防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号27 ご質問の通りとお考え下さい。
番号28 排A-13、 事前に頂いた設計書P.114 最下階床伸縮目地について、事前に頂いた設計書P114に倣い成形伸縮目地材25×80 付着層タイプと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号28 ご質問の通りとお考え下さい。
番号29 排A-02、 事前に頂いた設計書P.108 防水押え軽量コンクリートについて、特記仕様書と事前に頂いた設計書P108とでスランプ値が相違していますが、事前に頂いた設計書P108を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・事前に頂いた設計書P108 - S15(正) ・特記仕様書 - S18(誤)	番号29 ご質問の通りとお考え下さい。「図面 排A-02」については、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号30 事前に頂いた設計P.113、114 点検通路・笠木塗膜防水について、事前に頂いた設計P.113、114とおり表面塗装シルバー色と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号30 ご質問の通りとお考え下さい。
番号31 排A-15、事前に頂いた設計P.117 風量調整パネルについて、仕様が不明です。事前に頂いた設計P.117に倣い下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・ステンレスパネル - t=3 2B 4面共 ・下地 - ステンレスL-90×90×6、[-100×50×5×5 CT・ブレース・アンカー等共 ・寸法 - X1-2 W4850～3900×D7200～5700×H4670 X2-3 W3850～2600×D7200～5700×H4670	番号31 ご質問の通りとお考え下さい。

質 問	回 答
番号32 排A-15 上記風量調整パネル裏のRC壁・梁・柱についても、打放補修が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号32 ご質問の通りとお考え下さい。
番号33 ダ1A-14、事前に頂いた設計書P129他 (外部) 特記仕様書にひび割れ誘発目地・打継目地が適用となっていますが、事前に頂いた設計書P.129他では見当たりません。目地は不要と考えて宜しいでしょうか。目地が必要な場合、シーリングは不要と考えて宜しいでしょうか。又、断面寸法を併せて御指示下さい。	番号33 ひび割れ誘発目地・打継目地については、不要とお考え下さい。
番号34 ダ1A-13 地下外壁塗膜防水下の打放補修について、B種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号34 ご質問の通りとお考え下さい。
番号35 ダ1A-14 地下外壁塗膜防水の範囲について、下端レベルは全て1SL迄と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号35 下端レベルは全て基礎底盤までとお考え下さい。
番号36 ダ1A-14、事前に頂いた設計書P129 止水板について、仕様が不明です。事前に頂いた設計書P.129に倣い、10×20程度と考えて宜しいでしょうか。又、メーカー・品番の指定があれば併せて御指示下さい。	番号36 止水板の仕様は、ご質問の通りとお考え下さい。メーカー・品番の指定はございません。
番号37 ダ1A-14、事前に頂いた設計書P130 断面詳細図において、RSLスラブ天端に特殊塗膜防水の記載ありますが、事前に頂いた設計書P.130では天端特殊塗膜防水が見当たりません。断面詳細図とおり、天端に塗膜防水が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号37 地下天端部分にも特殊塗膜防水は必要です。なお、「金額を記載しない設計書P.130 地下外壁特殊塗膜防水」の中には天端部分の数量も含まれています。
番号38 ダ1A-14、 事前に頂いた設計書P.130 (内部) 平面図にスリップバー及びび可とうジョイントの記載ありますが、特記仕様書では該当無しの様に記載があり、相違しています。又、事前に頂いた設計書においても、記載が無いため、共同溝・ダ外工事範囲外と考えて宜しいでしょうか。又、共同溝・ダ外工事が必要な場合、仕様は⑤排気ダ外工事に倣うと考えて宜しいでしょうか。又、範囲を併せて御指示下さい。	番号38 スリップバー及びび可とうジョイントについては、共同溝・ダ外工事範囲外です。 なお、受電所との取り付け部のスリップバー及びび可とうジョイントは「金額を記載しない設計書P.98 ユニット及びその他(受電所)」にて計上しており、換気所との取り付け部のスリップバー及びび可とうジョイントは「金額を記載しない設計書P.60 ユニット及びその他(換気所)」にて計上しています。

質 問	回 答
番号39 タ'1A-14、 事前に頂いた設計書P.130 参考メーカーリストにおいて、ノンスリップ[®]の記載ありますが、事前に頂いた設計書に記載が無い為、共同溝・タ'外工事範囲外と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号39 ノンスリップについては、不要とお考え下さい。
番号40 タ'1A-14、タ'1S-08 風洞の寸法が平面図・断面図・構造伏図と断面詳細図とで下記の様に相違していますが、平面図・断面図・構造伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・平面図・断面図・構造伏図 - X2-3間 5100、X3-4間 5100(正) ・断面詳細図 - X2-3間 5350、X3-4間 4650(誤)	番号40 ご質問の通りとお考え下さい。「図面 タ'1A-14」については、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号41 タ'1A-14 断面詳細図において、捨コン部に特殊塗膜防水の記載ありますが、図面とおり必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号41 ご質問の通りとお考え下さい。
番号42 タ'2A-15、事前に頂いた設計書P140他(外部) 特記仕様書にひび割れ誘発目地・打継目地が適用となっていますが、事前に頂いた設計書P.140他では見当たりません。目地は不要と考えて宜しいでしょうか。目地が必要な場合、シーリングは不要と考えて宜しいでしょうか。又、断面寸法を併せて御指示下さい。	番号42 ひび割れ誘発目地・打継目地については、不要とお考え下さい。
番号43 タ'2A-13 地下外壁塗膜防水下の打放補修について、B種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号43 ご質問の通りとお考え下さい。
番号44 タ'2A-13 地下外壁塗膜防水の範囲について、下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・Y1-5 - 1SL~3SL・RSL迄 ・Y5-10 - 2SL~RSL迄	番号44 下端レベルは全て基礎底盤までとお考え下さい。
番号45 タ'2A-15、事前に頂いた設計書P140 止水板について、仕様が不明です。事前に頂いた設計書P.140に倣い、10×20程度と考えて宜しいでしょうか。又、メーカー・品番の指定があれば併せて御指示下さい。	番号45 止水板の仕様は、ご質問の通りとお考え下さい。メーカー・品番の指定はございません。

質 問	回 答
番号46 ダ'2A-13 共通事項において、金属部分で結露の発生が想定される個所については、結露防止材を塗布することと記載ありますが、タラップには不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号46 ご質問の通りとお考え下さい。
番号47 ダ'2A-15 断面詳細図において、捨コン部に特殊塗膜防水の記載ありますが、図面とおり必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	番号47 ご質問の通りとお考え下さい。
番号48 ダ'2A-08、15、 事前に頂いた設計書P.142 (内部) 平面図にスリッパー及び可とうジョイントの記載ありますが、特記仕様書では該当無しの様に記載があり、相違しています。事前に頂いた設計書P.142のとおり下記と考えて宜しいでしょうか。又、換気所側・換気棟側のスリッパー及び可とうジョイントは排気ダクト工事外とし、Y3-4間の範囲のみは排気ダクト工事と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。 ・スリッパー - SS400 φ25×L1000、取付ピッチ300、スパイラル筋有 ・可とうジョイント - 先付け型、伸量・沈下量 100、外水圧0.15Mpa	番号48 スリッパー及び可とうジョイントについては、Y3-4間の範囲のみが排気ダクト工事の対象となります。仕様については、ご質問の通りとお考え下さい。 なお、排気塔との取り付け部のスリッパー及び可とうジョイントは「金額を記載しない設計書P.120 ユニット及びその他(排気塔)」にて計上しており、換気所との取り付け部のスリッパー及び可とうジョイントは「金額を記載しない設計書P.60 ユニット及びその他(換気所)」にて計上しています。 「図面 ダ'2A-08」については、別添正誤表のとおり修正いたします。
番号49 ダ'2A-15、 事前に頂いた設計書P.142 スリッパー及び可とうジョイントについて、事前に頂いた設計書P.142において数量に差がありますが、それぞれの範囲が不明です。下記範囲に必要と考えて宜しいでしょうか。又、排気塔についても同様と考えて宜しいでしょうか。異なる場合、範囲を併せて御指示下さい。 ・スリッパー - 床・天井・壁(床及び天井はX2通壁上下にも必要とし、壁は全て芯にのみ必要) ・可とうジョイント - 床・天井・X1・3壁片面、X2壁両面	番号49 ご質問の通りとお考え下さい。
番号50 入札説明書4. (9) 配置予定技術者(建築)の専任要件に関して、本工事の工期の開始時(準備開始の2020年7月1日～)とありますが、監理技術者制度の運用では、「本工事の開始時」からの事例もあるため、今回の案件では「2020年9月1日の先行排気ダクト開始時から専任」として頂けないでしょうか。	番号50 配置予定技術者(建築)については、入札説明書4. (9)に記載の通り、工期の開始時から専任で配置して下さい。